

会議名称	平成25年度第3回平塚市スポーツ推進審議会
日時	平成25年(2013年)12月18日(水) 14時30分から16時28分まで
会場	平塚球場 会議室
委員数	15名
出席者 委員	11名 陶山正明、萩裕美子、田中國義、高梨孝治、伊藤公明、鈴木登喜雄、石塚重子、菊地武良、藪田稔、大曾根俊久、吉川正行
出席者 事務局	6名 金子教育長、後藤社会教育部長、高橋スポーツ課長、市川主管、渡部主任、大沢田主任

1 陶山会長あいさつ

2 金子教育長あいさつ

【事務局】

平塚市スポーツ推進審議会規則第4条に規定する定足数は委員定数15名に対し、本日の出席者11名で過半数を超えているため、会議が成立することを事務局から報告する。

議題に入る前に平塚市スポーツ推進計画について、金子教育長から陶山スポーツ推進審議会会長へ諮問を行う。

4 議題

(1) 平塚市スポーツ推進計画について

【事務局】

資料に基づき平塚市スポーツ推進計画について説明

【会長】

計画に「2020年東京オリンピック・パラリンピック」の表現を加えたとのことだが、いかがか。

【委員】

前回の東京オリンピックをきっかけにスポーツが広がっていった。「2020年の東京オリンピック・パラリンピック」についても期待は高く、計画で触れることはよいと思う。

【会長】

文言的にはいかがか。事務局案どおりで問題ないか。

【委員】

良いと思う。

【会長】

続いて、14 ページ脚注に体力テストの説明と総合評価基準表を加えたいとのことだが、いかがか。

【委員】

良いと思う。

【会長】

続いて、「基本的施策（2） 子どものスポーツ機会の充実」及びその具体的施策④子どもを対象としたスポーツ活動の充実」について、「子ども」を「子ども・児童・青年」に変更したいとのことだが、いかがか。

【副会長】

子どもの認識を明確にするために変更するとのことなら、問題ないと思う。

【委員】

計画内では「子ども」の定義はどうなっているのか。「子ども・児童・青年」と表現するなら、それぞれ明確に定義する必要がある。

【副会長】

新体力テストでは、12 歳～19 歳を青少年と定義している。表現を青少年とするなら、新体力テストにおける定義と整合を図りやすい。

【委員】

明確に定義しなくても「新体力テスト」における青少年の定義を準用していることを記載すればよいと思う。

【委員】

他の定義と合わせる必要はなく、この計画でどのように考えているかを記載すれば良いと思う。

【事務局】

子どもの定義を脚注で定義すれば、基本的施策、具体的施策ともに「子ども」と表現したままで良いか。

【委員】

表現を「子ども」で統一した方が良いと思う。

【事務局】

それでは、表現を「子ども」のままとさせていただきます。

【会長】

続いて、「基本的施策6 ニュースポーツ・レクリエーションの普及」の説明に「関係団体と連携しながら」の一言を加えたいとのことだが、いかがか。

【委員】

良いと思う。

【会長】

続いて、「基本目標4 スポーツを楽しむ環境づくり」の指標について、「施設全体の利用における総合的な満足度（軟式庭球場）の「満足」と「ほぼ満足」の割合」及び「施設全体の利用における総合的な満足度（桃浜町庭球場）の「満足」と「ほぼ満足」の割合」の目標値を具体的な数値としたとのことだが、いかがか。

【委員】

良いと思う。

【会長】

それでは、これより諮問に対する答申の検討に入らせていただく。茅ヶ崎市では大まか内容について触れた上で、細かい点について挙げている。

【事務局】

大まかな要望を出した後に、なお書きで基本的施策レベルでの要望を挙げても良いと思う。

【会長】

個人的な意見としては、市の特色を取り入れるとともに、市に特に取り組んでもらいたい施策を答申に入れたほうが良いと思う。

【副会長】

具体的な要望を答申に含めたほうが良いと思う。

【委員】

基本的な内容を前段に入れながら、特色も入れると良いと思う。

【教育長】

漠としたものよりも具体的なものを答申に入れていただくと、市としても施策に取り組みやすいと思う。

【委員】

誰のためにこの計画を策定するのかを答申で明確にした方が良いと思う。市民のための計画であるから、多くの市民にスポーツを通じた自分自身の健康づくりの重要性を周知することについて、答申に記載した方が良いと思う。

【事務局】

計画の内容を理解してもらうことは確かに重要である。

【副会長】

市だけではなく大学やスポーツ団体等が取り組むべきことが、明確に記載されている。大学やスポーツ団体にスポーツの推進に取り組んでいただくためにも、計画内容の周知は重要である。スポーツ団体の集まりだけでなく、スポーツに関係しない団体の集まりで積極的に周知を図る必要があると思う。

【会長】

まず、確認であるが答申に平塚市の特色を記載することについては、問題ないか。

【委員】

問題ないと思う。

【会長】

もう1点確認であるが、市民に対する計画内容の周知についても、答申で触れることとして良いか。

【委員】

良いと思う。

【委員】

主文でその旨を触れたほうが良いと思う。

【委員】

なお書きで計画を推進するにあたって特に取り組んでいただきたい項目を挙げるとのことだが、項目があまり多すぎるのは良くないと思う。個人的には5項目程度で良いと思う。

【副会長】

具体的にスポーツ団体名を挙げたほうが良い。答申を後ろ盾にスポーツ推進に取り組むよう働きかけができる。

【会長】

1月の審議会において答申の内容を固め、教育長への答申を行うことで良いか。

【事務局】

そうである。

(2) その他

①「市民総合体育大会の競技種目の見直し」について事務局より説明

【委員】

競技種目によっては、参加地区が少なくなってしまう種目もある。明確な基準を設けることは良いと思う。

②「小学校プール開放」について説明

【会長】

平成 26 年度には、運営方法が変わるということか。

【事務局】

そうである。

③「小学校プール開放」について事務局より説明。

④「ひらつか市民スポーツフェスティバル」について説明

【委員】

スポーツを体験する機会を提供することが主目的である。

【副会長】

これは初めて行うイベントなのか。

【会長】

そうである。

⑤大神スポーツ広場・軟式庭球場の有料化について事務局より説明

5 閉会